生後14週6日までのお子さんのご家族の方へ

　　令和2年10月1日から「ロタウイルスワクチン」は「定期接種」になります。

ロタウィルスによる重症胃腸炎を予防するために

　　　　　　　　「ロタウイルスワクチン」を接種しましょう！

■ロタウイルスワクチンの**初回の接種**は、

**生後6週**（約1か月半）から**生後１４週6日**（約3か月と10日）までに受けましょう

＊月齢が進むと腸重積症にかかりやすくなるため、生後15週以降の初回接種は、お勧めしていません。

■生後2か月で接種するワクチンが１つ増えました。

☑Ｂ型肝炎ワクチン

☑小児肺炎球菌ワクチン　　　+　　☑ロタウイルスワクチン

☑ヒブワクチン

ロタウイルスワクチンには2種類あり、同様の効果があります。



接種後は「腸重積症」に気をつけましょう。

様子が気になったらすぐに受診しましょう。

◆ワクチンの接種にかかわらず、3カ月～2歳くらいまでの赤ちゃんがかかりやすい病気です。

◆ワクチン接種後（特に初回接種後）１～２週間くらいの間は、特に注意しましょう。

◆腸重積症は、速やかな治療が必要ですので、次のような様子が一つでも見られるときは、

医療機関を受診しましょう。

・「突然はげしく泣く」 ・「嘔吐を繰り返す」　・「便に血が混じる」

・「ぐったりして顔色が悪い」　・「機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す」

氷川町保健予防係　TEL0965-52-7154